

仇討 (1964)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 103分
初公開日 1964/11/01

【解説】

「切腹」の橋本忍のオリジナル脚本を、「武士道残酷物語」の今井正が監督した時代劇。中村錦之助が悩み、もがき、苦しむ下級武士を熱演。クライマックスに登場するリアルかつ迫力満点の殺陣も見もの。

江戸時代。脇坂藩の武器倉庫点検で、槍の穂先の曇りを見つけた奥野孫太夫が、手入れ担当の江崎新八を罵倒。口論の末、孫太夫は新八に果たし状を叩きつけるが、逆に新八に斬られてしまう。乱心による私闘として処分された新八は感応寺に預けられるが、兄の仇討ちに乗り込んできた孫太夫の弟・主馬を斬り殺してしまった。脇坂藩は奥野家の仇討ちを認め、奥野家の末弟の辰之助に新八を斬らせることにする。死ぬ覚悟を決めた新八に、光悦は「逃げて人間として生きろ」と言うのだった。

【クレジット】

監督 今井正
製作 大川博
脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto
撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao
美術 鈴木孝俊
音楽 黛敏郎 Toshio Mayuzumi
出演 中村錦之助
田村高廣 Takahiro Tamura
丹波哲郎 Tetsuro Tamba
三田佳子
佐々木愛
小沢昭一
進藤英太郎